

【 10 款 教育費 】

1 学校教育

本市の教育分野においては、平戸市総合計画に定める基本目標や平戸市教育方針及び平戸市教育努力目標に基づき、「豊かな心」「確かな学力」「たくましい体」の充実を掲げ、「生きる力」の育成を目指してきたところであり、平成 22 年 6 月には、現在の様々な教育的課題に対応すべく今後 5 年間のアクションプランとして、平戸市教育振興基本計画を策定した。学校教育課においては、『高い志を持つ人づくり』を重点目標に各種施策に取り組んだ。この中で、「学校教育の充実」として「学力の向上」を一つの柱とした。

第 1 に、教師の指導法の改善と指導力の向上を目指し、全ての小・中学校を訪問して指導にあたった。

第 2 に、研究指定による指導を行った。平成 23 年度から 2 か年、平戸小学校及び津吉小学校を県教育委員会指定及び市教育委員会の研究指定校として、言語活動の充実を図る実践研究を行った。また、平成 24 年度から 2 か年、中部中学校を県及び市教育委員会の研究指定校として、言語活動の充実を図る実践研究を進めている。

第 3 に、学力向上のための計画の作成と実践を行った。全ての小・中学校で「観点別学力到達度診断テスト」を実施するとともに、平成 19 年度から実施された全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、全校がそれぞれに学力向上プランを作成し、指導法の改善を図り、学力の確実な定着を目指している。

第 4 に、外国語の向上を図る取組を行った。児童生徒が生きた英語に慣れ親しみながら、英語力の向上並びに国際感覚の充実を図るため、5 人の外国語指導助手を招致し、全ての小・中学校で指導を行った。

もう一つの柱は、「心の教育」の充実である。

第 1 に、道徳の指導に力を入れ、校長をはじめ、全職員による道徳教育の充実に努めた。道徳の指導方法の工夫・改善に取り組む一方、保護者や地域に対して道徳の授業を公開した。また、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を活用し、全ての小・中学校の道徳の授業を参観し、指導につなげた。

第 2 に、全ての小・中学校において、日課表の中に読書の時間（「朝の読書」など）を設定し、全校一斉の読書活動に取り組ませた。このことは子どもの情操教育に効果的であり、落ち着いた学習態度の定着など良い結果をもたらしている。

第 3 に、県派遣「スクールカウンセラー」を平戸小学校、平戸中学校、生月中学校、南部中学校及び田平中学校の 5 校に配置を行うとともに、平成 24 年度から「スクールソーシャルワーカー」を 1 人配置し、問題を抱える児童生徒がおかれた環境への働きかけを行うほか、関係機関のネットワークの構築、連携・調整を行った。

また、適応指導教室「のぞみ」の活用を図り、不登校児童 2 人・生徒 3 人の学校復帰に向けての指導を行った。

第 4 に、「特別支援教育」体制の更なる充実に向け、特別支援教育支援員を増員配置するとともに、研修会、講演会を開催し、個に応じた指導体制の基盤づくりを進めた。

また、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災を受け、本市においても平成 27 年度までに学校施設の耐震化完了に向けて平戸市総合計画実施計画の中に学校施設整備計画を盛り込み、情報教育等と併せて、安全で安心な教育環境の整備を図るとともに、各地区と検討協議を行いながら、学校統廃合に伴う廃校後施設の跡地利活用等を行っている。

(1) 奨学費

平戸市奨学金制度は、品行方正、学業成績が良好でありながら、経済的理由により修学困難な者に学資を貸与し、教育の機会均等を図り、将来、社会の発展に貢献できる人材育成を目的として、高校または大学等に修学する生徒・学生を対象に、高校 5 人、高専 3 人、大学 2 人の全体で 10 人（平成 24 年度新規貸付者：高校 3 人、高専 2 人、大学 1 人）について、平戸市奨学資金貸付基金運営委員会の審査により決定し、奨学金の貸与を行った。

(2) 小学校・中学校費

○学校管理

学校教育の充実を目的として、児童生徒の健康対策及び保護者の負担軽減を図るなど、児童生徒が安心して学習できる教育環境の整備を行った。

施設の営繕等については、プールの濾過装置補修、校舎や体育館の屋根・外壁補修、校舎の防水工事、照明器具や高圧機器の改修、更には、教室のカーテン・暗幕の取替、黒板張替など施設の維持及びより安全な教育環境の整備を行った。

○教育振興

心の教育の充実及び児童生徒の読書活動を推進するため、学校図書館支援員を全ての小・中学校に配置し、読書環境の整備を図っており、小中学生の年間読書量は、これまで同様に引き続き多い状況にある。

就学援助対策として、要保護及び準要保護並びに特別支援学級の児童生徒に対し、援助費及び奨励費の支給や、遠距離通学等をしている児童生徒に対し、補助金の支給を行った。また、適応指導教室「のぞみ」では、不登校児童生徒 5 人に対し、学校復帰を目指した指導を行い、学校行事や卒業式への参加や高校への進学など改善できた児童生徒がいた。更には、指導員が不登校児童生徒の家庭を訪問し、児童生徒及び保護者等がかかえる悩みを聞いたり登校等を促しながら、学校復帰への指導を行った。

○学校建設

学校施設環境の整備については、校舎の増改築や大規模改修、耐震補強、屋内運動場を含む各施設の整備等、年次計画を立て実施しているところであり、本年度は、志々伎小学校校舎大規模改修事業を実施し、安全で安心な教育環境の整備を図った。

併せて、平戸中学校校舎増改築事業において、平成 23 年度から校舎建設工事に着手し、平成 24 年 12 月に完成、他に既存校舎の解体工事及び太陽光発電設備を設置した。なお、グラウンド造成工事については、平成 25 年 2 月から着工し、8 月末に完成予定である。

また、平戸小学校校舎大規模改修事業において、実施設計を行い、平成 25 年度工事着工の準備が完了した。

○学校施設の耐震化率の推移 (各年度末)

施設名	平成 23 年度	平成 24 年度
小学校	73.1%	75.0%
中学校	96.7%	100.0%
計	81.7%	84.0%

2 幼稚園費

幼児教育の充実と円滑な幼稚園運営を図るため、職員研修の実施、施設の維持補修及び備品の購入を行うなど幼児がのびのびと学べる環境の整備に努めた。

また、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るため、私立幼稚園の保護者に対し、保育料等を減免する私立幼稚園就園奨励費補助を行った。

【 10 款 教育費 】

3 社会教育費

(1) 社会教育

平成 19 年 3 月に策定した平戸市生涯学習推進計画に基づき、市民自らの学習意欲を喚起し、学習した成果を生かした協働のまちづくりを推進した。具体的な取り組みとして、市民自らが様々な分野から講師を招聘しての生涯学習講演会の開催をはじめ、生涯学習パスポートの表彰・生涯学習月間の啓発、ながさき県民大学主催講座の実施、市民編を前面に出した出前講座の実施等、生涯学習の推進に取り組んだ。

長崎県の県民運動である「ココロねっこ運動」を推進する事業や学社融合事業等を実施し、学校と地域、家庭が一体となって青少年の健全育成に取り組む気運を高め、地域や家庭の教育力の向上を図った。また、少年センターでは、専門員や少年センター補導委員による補導活動や環境浄化活動を実施し、青少年の非行防止、保護育成に取り組んだ。

公民館事業については、市内 6 公民館を生涯学習の拠点施設として各種学級・講座等を実施し、市民のニーズや時代に即応した学習の場の提供を行った。また、地域の生涯学習の推進や住民相互の交流を図るうえで必要な地区公民館の修繕補修についても助成を行った。図書館事業については、利用者ニーズにあった資料の購入、読書感想発表大会や読み聞かせ等の読書推進事業、各種講座開催など読書に親しむ機会の提供を行った。また、公民館図書室の整備に伴い、今まで生月町中央公民館にあった生月図書室を生月支所に移設、改修し平成 24 年 4 月にリニューアルオープンしたことにより、貸出冊数が大幅に増加した。また、図書館フェスティバルや絵本作家講演会を開催し、読書環境の改善を図った。

(仮称)平戸市総合情報センターの平成 27 年度開館に向け、業者選定プロポーザルを実施し、設計者を選定し設計業務に取り組んだ。

(2) 文化財保護

文化財保護について、平成 24 年 8 月 13 日に「亀岡神社本殿・拝殿・幣殿及び登廊・神楽殿」が国の登録文化財となった。また、平成 25 年 3 月 29 日付で「里田原遺跡出土の木製品」(弥生時代の農具・工具・生活用品等 72 点)が県の有形文化財(考古資料)に指定された。

指定・選定文化財について、①大島村神浦重要伝統的建造物群保存地区の町家 4 件の修理補助、②交流拠点施設の消防設備工事と案内・避難誘導看板の設置、③国指定重要文化財「田平天主堂」の鐘楼ガラリ及び鐘台座金具の補修、④県指定史跡「鯨組主益富家居宅跡」座敷の改修、⑤県指定有形文化財「雄香寺開山堂」の自動火災報知設備修繕、⑥県指定天然記念物「海寺跡のハクモクレン」の保存整備事業を行い、貴重な文化財の保存・保護に努めた。

平戸オランダ商館については、史跡地内公有地にて文化財に相応しい整備を実施し、来館者が平戸港周辺を周遊できるよう動線を設定した。特に発掘調査によって確認された商館長居宅跡と推定される遺構については、遺構表示を行い、往時の様相をあらわすものとして広く内外にアピールすることができた。

重要文化的景観保護について、適切な保存活用を図っていくため、整備活用計画の策定検討を行った。また、選定区域内の便益施設整備として休憩施設 2 棟を設置した。

世界遺産登録推進について、県版アクションプラン、包括的保存管理計画の一部となる市アクションプランの策定や、関係地域における継続した調査研究を行い、登録作業の推進を図った。

(3) 文化振興・文化施設

文化振興について、市美術展、文化協会加盟団体による文化まつりを実施し、文化活動団体への活動補助、全国大会出場者への補助を行うなど、市民の文化に対する意識の高揚と、芸術文化の振興に努めた。

また、ながさき音楽祭 2012 コンサート 5 か所、ひらんコンサート 2 か所、次代を担う子どもの文化芸術体験事業を生月小学校、長崎県美術館名品展 移動美術館 i n 平戸市・県展移動展を島の館で開催し、質の高い芸術を鑑賞する機会を提供することができた。

さらに、ジャンガラフェスティバル及び民俗芸能祭を開催することにより、平戸固有の伝統文化を市内外に周知・啓発するとともに、各保存会の意見交換・交流の場を設けることができた。

文化施設について、大島村ふるさと資料館、田平町里田原歴史民俗資料館、生月町博物館・島の館の施設の

維持管理・運営・公開を行い、郷土の歴史や地域文化の紹介と情報発信、文化財の保存保護に対する周知と啓発を行った。里田原歴史民俗資料館では里田原遺跡発見 40 周年・資料館開館 30 周年にあたったことから記念式典や記念講演・ウォークラリー等を行い、里田原遺跡を再認識してもらうことができた。

4 保健体育費

(1) 保健体育・体育施設

スポーツ振興においては、体育協会を中心としてスポーツ団体の育成と競技力の向上を図ることができた。また、スポーツ振興基金を活用して、個人・団体等の九州大会以上の大会への参加費補助やスポーツ教室等の開催に助成を行った。各地区の体育振興会を中心に、健康まつりや町村民運動会などを開催し、市民の融和と社会体育の底辺拡大、市民の健康増進を図るため、生涯スポーツの推進に努めた。

スポーツイベントとして、「第 6 回ひらどツデーウォーク 2012」を開催し、悪天候にもかかわらず市内外から参加者が訪れ、健康増進とともに、観光地平戸を大きく P R し、地域の活性化に貢献することができた。

青少年の健全育成を目的としたスポーツ振興については、スポーツ少年団体の活動に支援を行った。平成 26 年度長崎がんばらば国体に向けて、軟式野球競技の会場となる平戸市総合運動公園ライフカントリ赤坂野球場と生月町勤労者体育センターの施設改修を行ったことにより、スムーズな競技運営が図られるようになった。そのほか生月町 B & G 海洋センターのプール改修工事や各体育施設改修等を行うことにより、利用者の安全確保やサービスの向上を図った。

第 69 回国民体育大会平戸市実行委員会運営事業については、4 月 24 日に平戸市実行委員会常任委員会を、5 月 17 日に第 2 回総会を開催し、その後、4 専門委員会を開催した。先催地の視察・調査(東京・岐阜)を行うことにより具体的な内容の把握ができ、今後の業務遂行に大いに参考となった。懸垂幕・横断幕等を市内各所に掲げ、イベントでの着ぐるみ P R、フェイスブックの開設及び昭和 44 年国体写真展の開催等により啓発活動に努めた。また、関係機関団体等との連絡調整及び放送委員の実践研修を行い大会開催へ万全を期すため準備を行った。

全国高等学校総合体育大会平戸市実行委員会運営事業については、4 月 24 日に平戸市実行委員会常任委員会を、5 月 17 日に第 2 回総会を開催し、その後、4 専門委員会を開催した。先催地の視察・調査(長野県長野市)を行うことにより具体的な施設面・競技運営面等、今後の業務遂行に参考となるものであった。懸垂幕・横断幕等を市内各所に掲げ、また、高校生活動とともにイベントでのティッシュ配布及びフェイスブックの開設など啓発活動に努めた。関係機関団体等との連絡調整及び高校生放送部の県内外大会での実践研修を行い大会開催への準備を行った。

全国高等学校総合体育大会相模競技選手強化育成事業については、年間を通して遠征合宿及び合同練習を行うことにより選手強化が図られた。

(2) 学校給食

安全安心でおいしい給食を児童生徒に提供するため、調理講習会や衛生管理研修会を実施し調理従事者等の資質の向上を図った。

また、「おにぎり給食」を 2 回実施し、主食である米の消費拡大と児童生徒自らが心身の健康の保持増進を図ろうとする興味、関心、意欲の向上に努めた。

設備面では、経年劣化により業務に支障をきたしていた北部及び中南部共同調理場のプレハブ冷凍冷蔵庫パネル、中南部共同調理場の蒸気回転釜並びに大島共同調理場及び度島調理場の食器洗浄機を最新の機器に更新するとともに、施設面では、北部、中南部、田平共同調理場及び度島調理場の床の補修を実施することで、学校給食衛生管理基準の遵守を図り、円滑な業務遂行のための環境整備を行った。

事業名	事業内容	事業費																																																																														
奨学資金貸付事業 (教育総務課) 【事項別明細書 296 頁】	<p>経済的理由により修学困難と認められる品行方正、学業成績が良好である者に教育の機会均等を図り、将来の社会発展に貢献できる有為な人材を育成することを目的に学資を貸与した。</p> <p>平戸市奨学資金貸付基金 平成 24 年度貸付状況 10 人 1,800 千円</p> <p>内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">高校</th> <th colspan="2">高専</th> <th colspan="2">専修</th> <th colspan="2">短大</th> <th colspan="2">大学</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>人</th> <th>千円</th> <th>人</th> <th>千円</th> <th>人</th> <th>千円</th> <th>人</th> <th>千円</th> <th>人</th> <th>千円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計</td> <td>5</td> <td>648</td> <td>3</td> <td>432</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>720</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>3</td> <td>360</td> <td>2</td> <td>288</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>360</td> <td>1,008</td> </tr> </tbody> </table> <p>基金金額 単位：円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">前年度末</th> <th colspan="4">増減額</th> <th rowspan="2">本年度末</th> </tr> <tr> <th>貸付金</th> <th>返還金</th> <th>寄附金</th> <th>利子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現金</td> <td>70,991,935</td> <td>△1,800,000</td> <td>10,561,200</td> <td>800,000</td> <td>9,856</td> <td>80,562,991</td> </tr> <tr> <td>貸付金</td> <td>49,201,200</td> <td>1,800,000</td> <td>△10,561,200</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>40,440,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>120,193,135</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>800,000</td> <td>9,856</td> <td>121,002,991</td> </tr> </tbody> </table>	区分	高校		高専		専修		短大		大学		計	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	合計	5	648	3	432					2	720	1,800	H24	3	360	2	288					1	360	1,008	区分	前年度末	増減額				本年度末	貸付金	返還金	寄附金	利子	現金	70,991,935	△1,800,000	10,561,200	800,000	9,856	80,562,991	貸付金	49,201,200	1,800,000	△10,561,200	0	0	40,440,000	合計	120,193,135	0	0	800,000	9,856	121,002,991	990
区分	高校		高専		専修		短大		大学		計																																																																					
	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円																																																																						
合計	5	648	3	432					2	720	1,800																																																																					
H24	3	360	2	288					1	360	1,008																																																																					
区分	前年度末	増減額				本年度末																																																																										
		貸付金	返還金	寄附金	利子																																																																											
現金	70,991,935	△1,800,000	10,561,200	800,000	9,856	80,562,991																																																																										
貸付金	49,201,200	1,800,000	△10,561,200	0	0	40,440,000																																																																										
合計	120,193,135	0	0	800,000	9,856	121,002,991																																																																										
スクールバス・ボート運行事業 (教育総務課) 【事項別明細書 298 頁】	<p>学校統廃合等による児童生徒の安全な通学を確保するため、スクールバスの運行またはスクールボートの運航を行った。</p> <p>バス 中野小～古江、大瀬地区 18 人 中野小～主師、山野、白石地区 11 人 紐差小～獅子、高越、春日地区 16 人 紐差小～宝亀地区 21 人 紐差小～大川原、赤松、木ヶ津 4 地区 14 人 津吉小～早福地区 14 人 大島小・中～板ノ浦地区 5 人</p> <p>ボート 宮の浦港～高島港 4 人 乗船延べ人数 児童 1,088 人 一般 284 人</p>	21,065																																																																														

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		810	180	修学困難とされる者に修学を促し、教育の機会均等を図ることができた。
	18,300	54	2,711	学校統廃合となった地区または公共交通機関が乏しい地域の児童生徒の安全な通学の確保ができた。 また、通学以外での市内各小中学校の学習活動（水泳指導、社会科見学等）等へ有効活用できた。

事業名	事業内容	事業費
就学対策事業 (学校教育課) 【事項別明細書 300 頁】 【事項別明細書 304 頁】	就学困難な児童生徒の保護者の負担軽減及び義務教育の円滑な実施等を図るため、就学のために必要な学校用品等の整備及び支援等を行った。 【負担金補助及び交付金】 3,538千円 遠距離等児童・生徒通学費補助金 3,116千円 遠距離等の児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校(4km以上) 25人 424千円 (2) 中学校(6km以上) 72人 2,535千円 (3) 特別支援教室等通級費 15人 157千円 児童・生徒通学費助成金 422千円 学校統廃合の条件として、生月町御崎地区及び古賀江地区の児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校 6人 195千円 (2) 中学校 4人 227千円 【扶助費】 19,644千円 要準要保護児童生徒援助費 15,770千円 要保護及び準要保護児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校 就学 124人 1,870千円 給食 124人 4,730千円 医療 16人 123千円 (2) 中学校 就学 105人 4,064千円 給食 105人 4,836千円 医療 15人 147千円 特別支援学級就学奨励費 3,874千円 特別支援学級に就学する児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校 就学 25人 421千円 給食 25人 1,047千円 通学 12人 289千円 (2) 中学校 就学 15人 595千円 給食 15人 754千円 通学 12人 768千円	23,182
図書教育充実事業 (学校教育課) 【事項別明細書 300 頁】 【事項別明細書 304 頁】	心の教育の充実のために、図書を購入整備し、学校図書館を充実させ、児童生徒の読書活動を推進した。	18,202

財 源 内 訳				事業の成果												
国県支出金	地方債	その他	一般財源													
878			22,304	児童生徒の就学環境の改善とともに、保護者の負担軽減及び義務教育が円滑に実施できた。												
		18,200	2	児童生徒の読書量が増え、休日前にも学校図書を借りて帰ることも多くなり、読書が定着、活発化してきている。 ○学校図書館標準冊数整備状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23.5.1</th> <th>H24.5.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>86.5%</td> <td>94.4%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>63.2%</td> <td>71.2%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>76.2%</td> <td>85.0%</td> </tr> </tbody> </table>		H23.5.1	H24.5.1	小学校	86.5%	94.4%	中学校	63.2%	71.2%	計	76.2%	85.0%
	H23.5.1	H24.5.1														
小学校	86.5%	94.4%														
中学校	63.2%	71.2%														
計	76.2%	85.0%														

事業名	事業内容	事業費
学校図書館支援員配置事業 (学校教育課) 【事項別明細書 300 頁】 【事項別明細書 306 頁】	市内小中学校図書館の活性化を図るため、学校図書館支援員を配置し、学校図書館の様々な取組みを支援した。 また、2人の支援員リーダーを配置し、支援員の資質の向上を図った。 支援員リーダー 2人 拠点校：平戸小 支援校：平戸中 拠点校：津吉小 支援校：南部中 支援員小学校 2人 拠点校：中野小 支援校：田助小、大島小、中野中、大島中 拠点校：志々伎小 支援校：堤小、生月小、野子小中、中部中 支援員中学校 2人 拠点校：田平中 支援校：田平北小、田平南小、田平東小、度島小中 拠点校：生月中 支援校：根獅子小、紐差小、中津良小、山田小	5,773
情報教育環境整備事業 (教育総務課) 【事項別明細書 302 頁】 【事項別明細書 308 頁】	児童生徒の情報化時代に対応できる能力を養うとともに、効果的効率的な教育の推進を図るため、児童生徒及び教職員等用のパソコンの整備を行った。 また、経年劣化による不具合が生じたプロキシ・ウィルス対策サーバの入れ替えを行った。 児童用 66台(入替) 津吉小 9台、志々伎小 9台、田平北小 20台 田平南小 9台、田平東小 10台、大島小 9台 生徒用 22台(入替) 中野中 22台 教頭・養護教諭用 20台(入替) 緊急時対応用 1台(導入)	10,007
特別支援教育支援員配置事業 (学校教育課) 【事項別明細書 302 頁】 【事項別明細書 308 頁】	心身に障害を持つ児童生徒が、健常者と平等に楽しく学習が受けられる環境整備を図るため、特別支援教育支援員を配置し、個々の障害に応じた適切な教育にかかる側面からの支援を行った。 小学校 14人 (支援対象児童 108人) 中学校 3人 (支援対象生徒 39人)	16,232

財源内訳				事業の成果												
国県支出金	地方債	その他	一般財源													
1,046		3,629	1,098	学校図書館環境が格段に良くなり、児童生徒が図書館を積極的に活用するようになった。 ○児童生徒1人あたりの貸出冊数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>148.4冊</td> <td>169.0冊</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>14.7冊</td> <td>20.3冊</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>100.2冊</td> <td>110.6冊</td> </tr> </tbody> </table>		平成23年度	平成24年度	小学校	148.4冊	169.0冊	中学校	14.7冊	20.3冊	計	100.2冊	110.6冊
	平成23年度	平成24年度														
小学校	148.4冊	169.0冊														
中学校	14.7冊	20.3冊														
計	100.2冊	110.6冊														
			10,007	児童生徒の情報化時代に対応できる能力の養成と効果的効率的な教育が推進できた。 また、サーバを入れ替えたことで、不具合が解消でき、安全安心な情報教育環境が図られた。												
	14,500	77	1,655	心のふれあいや協調性などを学び、心身に障害を持つ児童生徒と健常者が平等に学習できる環境が整備された。												

事業名	事業内容	事業費
小学校施設耐震診断事業 (教育総務課) 【事項別明細書 302 頁】	<p>児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、平成 27 年度までに学校施設の耐震化完了に向けて取り組んでおり、耐震診断未実施であった 9 小学校の屋内運動場についても整備計画を策定するため、耐震診断を行った。</p> <p>平戸小学校 S 造 2 階建 860 m² Is 値 0.13 田助小学校 S 造 平屋建 532 m² Is 値 0.40 中野小学校 S 造 平屋建 532 m² Is 値 0.25 中津良小学校 S 造 2 階建 532 m² Is 値 0.48 生月小学校 S 造 2 階建 1,073 m² Is 値 0.26 山田小学校 S 造 2 階建 839 m² Is 値 0.15 田平北小学校 S 造 2 階建 680 m² Is 値 0.37 田平南小学校 S 造 2 階建 484 m² Is 値 0.37 田平東小学校 S 造 2 階建 484 m² Is 値 0.40</p> <p>※ Is 値とは構造耐震指標のことで、柱や壁の強度を計算し値を算出しており、文部科学省は学校の建物について、0.7 以上の Is 値を求めている。</p>	10,413
平戸小学校校舎大規模改造事業 (教育総務課) 【事項別明細書 302 頁】	<p>児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、耐震診断の結果、耐震性が確認できなかった校舎について、耐震補強工事を施すとともに、建築後 37 年以上経過しており、老朽化の著しい箇所の大規模改造工事を実施するための設計を行った。</p> <p>平成 21 年度 耐震診断 平成 24 年度 耐震補強及び大規模改造設計 耐震補強及び大規模改造工事 (工事は平成 25 年度に繰越)</p> <p>【耐震補強設計】 鉄筋コンクリート造 3 階建 延べ床面積 1,692 m² 耐震補強ブレース 8 か所 袖壁補強 8 か所</p> <p>【大規模改造設計】 鉄筋コンクリート造 3 階建 延べ床面積 1,599 m² 校舎内部 (天井、床、内装、建具類)、校舎外部 (屋上防水、外壁塗装)、高圧受電設備の改修及び電気設備改修、浄化槽改修及び機械設備改修工事に係る実施設計</p>	7,879

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			10,413	9 施設全てに耐震性が無いことが確認され、耐震化完了に向けた整備計画を策定することができた。
	5,400		2,479	本年度は、耐震補強及び大規模改造工事 (平成 25 年度繰越) に先立ち、実施設計を行った。

事業名	事業内容	事業費
志々伎小学校校舎大規模改造事業 (教育総務課) 【事項別明細書 302 頁】	<p>【平成 23 年度繰越明許費】</p> <p>児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、耐震診断の結果、耐震性が確認できなかった校舎について、耐震補強工事を施すとともに、建築後 35 年以上経過しており、老朽化の著しい箇所の大規模改造工事を実施するための設計を行った。</p> <p>平成 21 年度 耐震診断 平成 23 年度 大規模改造設計 平成 24 年度 大規模改造工事</p> <p>【耐震補強工事】 鉄筋コンクリート造 3 階建 延べ床面積 1,599 ㎡ 補強箇所 4 か所</p> <p>【大規模改造工事】 鉄筋コンクリート造 3 階建 延べ床面積 1,599 ㎡ 校舎内部（天井、床、建具類）、校舎外部（屋上防水、外壁塗装）電気設備及び機械設備の改修工事</p>	116,451
子ども議会開催事業 (学校教育課) 【事項別明細書 306 頁】	<p>中学生（市内 9 校×2 人）を「子ども議員」として、市議会を疑似体験する場を設定し、中学生の視点から将来の平戸市に思いを巡らせ、「魅力ある平戸市」を創るための提言を行った。</p> <p>本年度は、前年度に行った二つの一般質問に対する答弁のうち、その後の経過、進捗状況や成果について、詳しく説明を受けたい内容や疑問に思った内容について、再質問という形で質疑・答弁を行った。</p>	67
平戸市算数・数学検定事業 (学校教育課) 【事項別明細書 306 頁】	<p>検定の合格を目指し学力の向上及び家庭と連携し継続的に取り組むことで家庭学習の習慣化を図るため、平戸市中学校教育研究会を中心に検定を行った。</p> <p>また、保護者への呼びかけを通して親子で計算に親しむ環境をつくり、今年度は 2 人の希望者が受検を行った。</p> <p>年 2 回開催</p> <p>更には、問題集の制作に取り組み、市内統一したものを作成した。</p>	108
外国語指導助手招致事業 (学校教育課) 【事項別明細書 308 頁】	<p>児童生徒の英語力向上並びに国際感覚を高めるため、生きた英語に慣れ親しむことを目的に、外国語指導助手を招致し、全ての小中学校で指導を行った。</p> <p>A L T (Assistant Language Teacher) 5 人 国籍：オーストラリア 5 人 (3 年目…1 人、2 年目…2 人、3 年目…2 人)</p>	23,257

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
38,241	78,100		110	児童の安全性の確保及び教育環境が整備された。
			67	身近な問題から平戸市全体の問題まで、故郷平戸市を見直すことができ、また、自らまちづくりに参画することで、郷土に対する思いやりや行政に対する関心を高めることができた。
			108	全受検者の 8 割近くの合格者に対して、合格証を与え、生徒の関心も高まり、学力の向上及び家庭学習が習慣化できた。
	7,700	88	15,469	児童生徒一人ひとりが意欲を持って学習に参加できており、英語力の向上並びに国際感覚が豊かになった。

事業名	事業内容	事業費
適応指導教室運営事業 (学校教育課) 【事項別明細書 308 頁】	不登校児童生徒の学校復帰及び学校行事への参加促進並びに学習の援助を図るため、適応指導教室を設置した。併せて、指導員を配置し、通級者へ個別の指導や家庭訪問を行った。 平成 24 年度 中学 3 年生 1 人 小学 6 年生 2 人 中学 2 年生 2 人	3,310
空き校舎活用事業 (適応指導教室) (教育総務課) 【事項別明細書 310 頁】	学校統廃合に伴う旧校舎の活用策について、地元との協議会において模索してきたが、平戸市中央部という地理的利点を生かし、不登校児童生徒の学校復帰等の適応指導教室として活用することで協議が整ったため、改修等の整備を行った。 鉄筋コンクリート造 2 階建 延べ床面積 280 m ² 内装工事、網戸設置工事、外部階段屋根設置工事、屋外照明設備工事、電気設備工事、給排水設備工事、電話引込工事、空調設備工事	4,535
平戸中学校校舎増改築事業 (教育総務課) 【事項別明細書 310 頁】	生徒の安全安心な教育環境の改善を図るため、老朽化等により授業に支障をきたしている校舎について、5 カ年計画の増改築事業を策定し、改築工事、既存校舎解体工事、太陽光発電設備設置工事を実施した。 グラウンド整備については、現在工事中で、平成 25 年 8 月に完成予定。 平成 21 年度 耐力度調査 平成 22 年度 地質調査、実施設計、プール解体工事 平成 23 年度 プール解体工事、本校舎建設工事 (建設工事の一部は平成 24 年度に繰越) 平成 24 年度 本校舎建設工事、既存校舎解体工事、太陽光発電設備設置、グラウンド整備工事 平成 25 年度 グラウンド整備工事 【本校舎建設工事】 鉄筋コンクリート造 2 階建 延べ床面積 3,930 m ²	652,402
	【平成 23 年度繰越明許費】 監理委託 5,479 千円 本校舎建設工事 277,296 千円	282,775

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		1,614	1,696	子どもたちの心のよりどころとして、効果的な学習指導及び精神的ケアが十分に機能し、中学 3 年生が卒業式に参加し、高校入試を受験、進学するとともに、小学 6 年生も卒業式に参加できた。
			4,535	適応指導教室の教育施設としての環境が整備された。
309,971	317,200		25,231	本年度は、平成 23 年度着工の本校舎建設工事及び既存校舎解体工事、太陽光発電設備設置工事が竣工し、12 月から新校舎での授業を行っており、教育環境が改善された。
108,680	165,300		8,795	

事業名	事業内容	事業費
南部中学校校舎外壁改修事業 (教育総務課) 【事項別明細書 310 頁】	南部中学校校舎は、昭和 58 年に建設され耐震性は確保されているものの、建築後 29 年以上経過しており、経年劣化が著しく、校舎の軒天や外壁が崩落している状態であることから、生徒の安全な教育環境を確保するため、外壁改修工事を行った。 鉄筋コンクリート造 3 階建 延べ床面積 3,139 ㎡	29,303
幼稚園就園奨励事業 (学校教育課) 【事項別明細書 312 頁】	私立幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担軽減を図るため、私立幼稚園の保育料等を減額又は免除し、公立幼稚園との保護者負担の格差是正を行った。 私立幼稚園就園奨励費補助金 4 園 (68 人) 7,322 千円	8,162
放課後子ども教室開催事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 314 頁】	放課後等の子どもたちの安全で安心な活動拠点(居場所)を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するために公民館及び田平東小学校で子ども教室を開催した。 子ども将棋教室 延べ開催日数 147 日、延べ参加者 852 人 東っ子ふれあい教室 延べ開催日数 75 日、延べ参加者 1,132 人	1,054
生涯学習推進事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 314 頁】	行政と市民の協働によるまちづくりを推進するため、市民自らが企画・立案・運営まで一貫して行う公募型の生涯学習講演会を開催し、ボランティアを育成するなど、まちづくりに向けた市民参加のための学習を推進した。 また、生涯学習だより「まなぶ君」を情報提供と啓発の場とするとともに、まちづくり出前講座における市民編の P R や生涯学習パスポート制度、生涯学習まちづくり表彰などを通じて市民の生涯学習を評価し、その成果を生かす機会を拡充した。 生涯学習講演会 2 回 出前講座 566 回 生涯学習だよりまなぶ君発行 4 回 生涯学習推進会議 1 回 生涯学習視察研修 1 回	2,060

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			29,303	生徒の安全性の確保及び教育環境が整備された。
1,754			6,408	私立幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担が軽減された。
650			404	放課後の子どもたちの安全で安心な居場所を提供することができた。
			2,060	市民自らが学習の機会を作り、活動し、成果を活用する生涯学習のまちづくりに向けて、さまざまな企画が進み、市民の学習意欲の喚起につなげることができた。特に出前講座市民編は回数と参加者が増え認知されつつある状況である。また、生涯学習だより「まなぶ君」によって生涯学習活動全般や、拠点となる各公民館の情報を全市的に発信することができた。 参加者数 H24 H23 生涯学習講演会 1,820 人 470 人 出前講座 17,726 人 17,885 人 (うち市民編 1,918 人 1,155 人)

事業名	事業内容	事業費
少年の主張大会開催事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 314 頁】	平戸市内の全小中学校から 26 名の児童・生徒が参加した。 開催日：平成 24 年 6 月 16 日(土) 場所：平戸文化センター 来場者：約 350 名	142
青少年健全育成事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 316 頁】	明日を担う青少年を、心身ともに健全でたくましく育てるため、各地域の青少年健全育成活動に助成を行った。 平戸地区(13 学校区) 911 千円 田平地区 300 千円 生月地区 500 千円 大島地区 120 千円 日本の宝「しま」体感交流事業補助金 504 千円	2,382
自治公民館整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 320 頁】	地域の生涯学習の拠点施設である地区公民館の整備を図るとともに、自治活動やコミュニティの醸成を図るため、地区公民館の改修、補修の補助を行った。 地区公民館改修等(平戸地区) 稗田 743 千円 高麗町 659 千円 後平 188 千円 中の原 150 千円 紺屋町 708 千円 高越 738 千円 紐差第 4 2,357 千円 向月 150 千円 紐差第 1 592 千円 木ヶ津 3 1,981 千円 万場 343 千円	8,609
空き校舎活用事業 (旧志々伎小学校早福分校) (教育総務課) 【事項別明細書 320 頁】	学校統廃合に伴う旧校舎の活用策について、地元との協議会において模索してきたが、地元要望の 1 階部分を地区公民館として活用することが決定したため、改修等の整備を行った。 鉄筋コンクリート造 2 階建 延べ床面積 800 m ² 内装改修、浄化槽改修、電気設備、機械設備工事	11,708

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			142	社会問題や家庭での出来事などに対し、自分の思いや自分が果たすべき役割を堂々と主張し、来場者に感銘を与えた。また、社会や地域の問題に接し、問題解決を考えることで、自らも社会の一員であることを自覚し、社会に対する意識の向上や健全な心を育んだ。
	336		2,046	家庭・学校・地域が連携し、青少年の健全育成や社会環境の浄化、非行防止などに努めるとともに、家庭や地域の教育力が向上した。 日本の宝「しま」体感交流事業では、県内の小中学生 30 人が台風の影響も受ける中、2泊3日で大島の自然や民泊、船釣りなどの体験を行った。島の暮らし、離島の魅力を体感することにより、参加者の健全育成と地域との交流が推進された。
		1,849	6,760	地域住民のコミュニティの促進や生涯学習活動を推進するための環境が整った。
			11,708	廃校後の学校施設を、避難所を兼ねた地区公民館として整備した。 今後は、地域の拠点施設としての活用が見込まれる。

事業名	事業内容	事業費																																										
公民館講座開催事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 320 頁】	<p>①公民館講座開催事業 2,329 千円</p> <p>学習の場を市民に提供するため、各公民館において、女性、高齢者、成人、青年、少年等を対象に、各種事業講座、教室を開催した。また、スポーツ面においては、地域間の親睦と健康増進やスポーツの普及を図るため、軽スポーツ、新スポーツの教室を開催した。</p> <p>主催講座数 延べ受講者数</p> <table border="1"> <tr> <td>北部公民館</td> <td>17 講座</td> <td>911 人</td> </tr> <tr> <td>中部公民館</td> <td>10 講座</td> <td>850 人</td> </tr> <tr> <td>南部公民館</td> <td>17 講座</td> <td>895 人</td> </tr> <tr> <td>生月町中央公民館</td> <td>6 講座</td> <td>1,628 人</td> </tr> <tr> <td>田平町中央公民館</td> <td>12 講座</td> <td>1,931 人</td> </tr> <tr> <td>大島村公民館</td> <td>2 講座</td> <td>210 人</td> </tr> </table> <p>②公民館大会開催事業 305 千円</p> <p>『できることからはじめよう 地域づくり 人づくり』を大会テーマとして、関係者の皆様が一堂に会し、今日の公民館のあり方について議論を深めるため、平戸市公民館大会を開催した。</p> <p>開催日：平成 25 年 2 月 17 日（日） 場 所：平戸市ふれあいセンターゆめホール 講 演：村 節雄 氏 演 題：「まったりでつながる地域の輪～木ヶ津千灯籠春まつり～」 参加者：300 名</p> <p>③北部公民館まつり開催事業 190 千円</p> <p>地域住民の文化振興と生涯学習活動を推進するため、北部公民館に關係する団体が一堂に集まり、日頃の学習成果の発表や作品の展示を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>参加者数</td> <td>1,700 人</td> <td>学習成果発表</td> <td>12 団体</td> </tr> <tr> <td>作品展示コーナー</td> <td>7 団体</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>④越南まつり開催事業（中部公民館） 170 千円</p> <p>学びあう仲間が集い、発表と交流により親睦を深め、活動のより一層の充実と生涯学習の推進及び明るく健康なひとづくり、まちづくりを進めるため越南まつりを開催した。</p> <table border="1"> <tr> <td>参加者数</td> <td>1,000 人</td> <td>学習成果発表</td> <td>20 団体</td> </tr> <tr> <td>作品展示コーナー</td> <td>5 団体、個人 12 人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>⑤奥ひらど文化祭開催事業（南部公民館） 170 千円</p> <p>日頃の学習成果を発表し、研鑽を深めるとともに仲間づくりや文化の向上を目的に、奥ひらど文化祭を開催した。</p> <table border="1"> <tr> <td>参加者数</td> <td>810 人</td> <td>学習成果発表</td> <td>17 団体</td> </tr> <tr> <td>作品展示コーナー</td> <td>14 団体</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	北部公民館	17 講座	911 人	中部公民館	10 講座	850 人	南部公民館	17 講座	895 人	生月町中央公民館	6 講座	1,628 人	田平町中央公民館	12 講座	1,931 人	大島村公民館	2 講座	210 人	参加者数	1,700 人	学習成果発表	12 団体	作品展示コーナー	7 団体			参加者数	1,000 人	学習成果発表	20 団体	作品展示コーナー	5 団体、個人 12 人			参加者数	810 人	学習成果発表	17 団体	作品展示コーナー	14 団体			3,164
北部公民館	17 講座	911 人																																										
中部公民館	10 講座	850 人																																										
南部公民館	17 講座	895 人																																										
生月町中央公民館	6 講座	1,628 人																																										
田平町中央公民館	12 講座	1,931 人																																										
大島村公民館	2 講座	210 人																																										
参加者数	1,700 人	学習成果発表	12 団体																																									
作品展示コーナー	7 団体																																											
参加者数	1,000 人	学習成果発表	20 団体																																									
作品展示コーナー	5 団体、個人 12 人																																											
参加者数	810 人	学習成果発表	17 団体																																									
作品展示コーナー	14 団体																																											

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			3,164	<p>①市民の学習意欲の高揚と学習情報の発信ができた。また、時代に即応した講座を開催し、市民のニーズにあった学習機会を提供することで、生涯学習への意識が高揚した。</p> <p>②この事業が“ふるさと平戸”の宝を再度見つめなおす機会となり、今後も公民館を拠点として、豊かなまちづくりを展開していくうえでの大切なものを考えることができた大会となった。</p> <p>③関係団体相互の親睦と連携が深まり、地区住民への文化振興と生涯学習の推進に貢献した。また、ふれあい広場では、もちつきや出店などを通して、参加者や地域住民相互の交流ができた。</p> <p>④地域住民の団体やサークルによる発表及び作品の展示を通して、公民館利用団体や地域住民との親睦が深まり、公民館活動の一層の充実が図られた。また、呈茶、実演・体験コーナー、バザーコーナー、ちゃんこコーナーなどを通して、地域住民の交流と世代間のふれあいの場を提供した。</p> <p>⑤学習グループや公民館関係団体の発表や作品展示を通して日頃から学んだ生涯学習の成果を発表し、グループ間の親睦交流や生涯学習の相互研鑽ができた。また、地域住民に対し、芸術文化に親しむ機会を提供した。</p>

事業名	事業内容	事業費
読書推進事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 322 頁】	<p>①子ども読書の週間記念事業（両館主催） 子ども読書週間の期間、おはなし会（紐差小、根獅子小、堤小、永田記念図書館）を開催した。</p> <p>②図書館フェスティバル（両館主催） 子どもから大人までのイベントを開催し、読書活動推進を実施した。</p> <p>開催日：平成 24 年 11 月 24 日（土） 場 所：北部公民館大ホール 参加者：490 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よみきかせ（紙風船、やよいの会） ・講演会「心と体の健康とは」 ～これからの人生をより充実したいとき～ ・廃棄本の配布など <p>③読書感想発表大会（両館主催） 本大会の開催に当り、多数の応募を得て子どもたちの読書活動への意欲を高めるとともに、図書館、学校や家庭における読書活動推進の活性化を図った。</p> <p>開催日：平成 24 年 11 月 17 日（土） 場所：ふれあいセンター 参加者：200 名</p> <p>④絵本作家ワークショップ（両館主催） 絵本作家 菊池日出夫さんを講師に迎え、自作の本の読み聞かせや、本の創作時のエピソードなどの講演会を実施し、読書推進を図った。</p> <p>開催日：平成 25 年 2 月 18 日（月） 場 所：大島小学校、大島村保育所 参加者：27 名</p> <p>⑤図書館モニターツアー 県内の先進的な図書館を市民とともに見学し、図書館運営の参考にした。</p> <p>開催日：平成 25 年 3 月 26 日（火） 場 所：嘉徳生涯学習センター夢サイトかほ 参加者：14 名</p>	621

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			621	読書感想発表大会などの読書推進事業を開催し、児童生徒を中心に読書に親しむ機会を進め、親しみのある図書館づくりを推進した。(出展数 感想文 233 点、感想画 1,086 点) また、図書館フェスティバル、図書館モニターツアー、絵本作家講演会など読書推進活動を行い、絵本の大切さ、読書の楽しみ方やその役割について、子どもから大人まで幅広く理解を深めることができた。また、定期的に読み聞かせやビデオ上映会を行い、図書館の利用促進、本にふれる機会を提供したことによって読書推進の周知ができた。

事業名	事業内容	事業費
図書購入事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 322 頁】	市内の図書館(室)に季節や話題の本など定期的に図書購入を行い、利用者サービスを行った。(一般書・児童書等) ・平戸図書館 2,844 冊 ・永田記念図書館 2,363 冊 ・南部公民館図書室 1,241 冊 ・生月中央公民館図書室 608 冊 ・田平中央公民館図書室 1,620 冊 ・大島村公民館図書室 1,014 冊 合計 9,690 冊	19,060
沖図書保存整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 322 頁】	昭和 24 年「沖楨介記念図書館」の廃館に伴い、古文書・漢籍等の 12,000 冊の寄贈を受けた。(古文書 1,700 冊、書籍 10,300 冊)。資料の重要性についての把握をするため、専従の非常勤職員・整備職員を配置した。 共済費 506 千円 賃金 3,220 千円 需用費 279 千円	4,005
総合情報センター (仮称) 整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 324 頁】	ボーリング調査 2,573 千円 基本設計・実施設計 7,500 千円 平成 25 年度へ繰越	10,073
生月町開発総合センター施設整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 324 頁】	生月町開発総合センターは、建造されてから 27 年が経過している。汚水処理施設、電気設備、冷却塔など対応年数経過、老朽化が進んでおり、施設の適切な管理運営を行うため、設備の改修を行った。 ●改修内容 ・汚水処理施設修繕 浄化槽配管取替、第 1・第 2・第 3 接触ばっき槽防水塗装等 ・大ホール系統冷却塔ファンモーター取替 ・電気設備取替 高圧引込ケーブル取替、高圧電機器取替等	5,390
「平戸学」推進事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 328 頁】	市内の資料調査を行い、その成果に基づく「平戸の家宝展」、和牛共進会に合わせて「牛にまつわる企画展」を実施し、市民への各種講座を開催した。 ・平戸の家宝展 期間：H24. 9. 8～H24. 10. 8 入場者：5,121 人 ・牛にまつわる企画展 期間：H24. 10. 14～H24. 11. 11 入場者：5,758 人	261

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		19,054	6	図書館(室)の利用者層や地域性を重視し、季節や話題の本など毎月、一般書・児童書、雑誌、新聞など資料提供を行った。また、図書システムで資料を管理しており、利用頻度に応じた本の購入によって、不足する資料の充実が図られた。
		4,001	4	新図書館オープンに向け、資料の重要性の把握・活用内容の検討を行い、資料の整理することができた。
3,918	5,800		355	平成 27 年度開館に向け、地質調査を行い、プロポーザル方式により設計者を選定し、設計業務に着手することができた。設計にあたり、住民説明会を開催し、利用者など市民と意見交換を行いながら設計を進めることができた。
			5,390	設備の改修及び取替を行うことにより、施設の適切な管理を行うことができ、利用者に社会教育施設としての機能を損なわず提供することができた。
			261	市内個人宅より約 90 点の資料を確認。内 14 点の資料を「平戸の家宝展」としてオランダ商館 2 階で展示し、本市の歴史の一端を広く紹介することができた。また、和牛共進会の開催に合わせて「牛にまつわる企画展」を開催し、歴史的支援と話題づくりに貢献することができた。商館長日記を読む会、親子で作るオランダ商館、出前講座など各種講座を開催し、本市の持つ豊かな歴史の学びの場を提供するなど平戸学を推進することができた。

事業名	事業内容	事業費
伝統的建造物群保存地区保存整備事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 328 頁】	平成 24 年度平戸市大島村神浦重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業は、間接補助事業で町家 4 棟の保存修理補助を行った。(うち 1 棟は 25 年度継続) また、防災施設等事業では、交流拠点施設の消防設備工事と、保存地区内 2 か所に案内・避難誘導看板の設置を行った。 ・ 伝統的建造物群保存修理事業 26,869 千円 柴山家住宅離屋修理補助金 6,152 千円 (事業費 6,973 千円) 田中家住宅修理補助金 6,841 千円 (事業費 7,713 千円) 平井家住宅修理補助金 6,876 千円 (事業費 7,763 千円) 丸田家住宅修理補助金 7,000 千円 (事業費 8,760 千円) ・ 伝統的建造物群防災施設等事業 3,129 千円 交流拠点施設消防設備工事 808 千円 案内・避難誘導看板設置工事 2,321 千円 ・ その他 229 千円	30,227
伝統的建造物群保存地区保存整備推進事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 328 頁】	保存計画に基づき大島村神浦伝統的建造物群としての町並み保存整備推進を行った。保存地区内の未調査建築物などの学術調査及び、痕跡調査を実施し継続的に町家の修理・修景を推進した。 ・ 修理希望調査の実施 対象 184 人 ・ 学術・痕跡調査 (4 件)	833
指定文化財維持管理事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 330 頁】	指定文化財の保存のため管理・整備・改修など行った。 ・ 史跡維持管理事業 236 千円 ・ 保存整備補助事業 (5 件) 169 千円 ・ 保存管理補助事業 (5 件) 115 千円 ・ ハクモクレン整備事業 275 千円 ・ 大島盆踊り開催委託 1,500 千円 ・ 棲霞園・借楽園航空写真撮影委託 158 千円 ・ 「獅子のアコウ」剪定 125 千円 ・ 消防用設備保守点検補助 52 千円 ・ 無形民俗文化財団体運営費補助 1,380 千円 ・ 事務費 61 千円	4,071
埋蔵文化財発掘調査事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 330 頁】	各種開発及び範囲確認に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施した。また、里田原遺跡出土の木製品の保存処理を行った。 ・ 発掘調査事業 3,359 千円 (入口遺跡・番岳遺跡・久吹遺跡・大崎みやま遺跡・生向遺跡・里田原遺跡・籠手田城跡) ・ 出土遺物保存処理委託事業 641 千円	4,000

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
20,687			9,540	町家の修理については 20 年度からこれまでに、15 棟が完了。徐々にではあるが、町家の整備が進みつつある。 間接事業 20 年度 1 棟 21 年度 4 棟 22 年度 4 棟 (うち 1 棟は 21 年度継続事業) 23 年度 4 棟 (うち 1 棟は 22 年度継続事業) 24 年度 4 棟 (うち 1 棟は 25 年度継続事業) 直接事業 公開活用施設 1 棟 防災施設等事業 (直接事業) 交流拠点施設消防設備工事 (非常通報設備) 案内・避難誘導看板設置 (保存地区内 2 か所)
			833	学術調査・痕跡調査により、調査未実施家屋の建築年代と当時の建築構造が解明された。 修理希望調査結果 25 年度修理希望件数 15 件、26 年度以降 5 件 学術調査結果 建築年代推定 江戸末期 1 棟 明治後期 3 棟
137			3,934	指定文化財の維持・管理や修理、伝承や後継者育成等に助成を行うことにより、所有者や管理者・保存会の負担を軽減し、貴重な文化財の保存・保護・継承をうながし、指定文化財としてふさわしい体裁等の保全、伝承活動の活性化を図ることができた。
2,200			1,800	発掘調査により旧石器時代の遺物(入口遺跡)を検出することができ、新たな資料を追加することができた。籠手田城跡の調査では建物遺構が確認された。 里田原遺跡から出土していた、木製品を保存処理することにより、後世に伝えることができるようになった。

事業名	事業内容	事業費
国指定重要文化財保存整備事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 330 頁】	「田平天主堂」鐘楼のガラリ及び鐘台座金具が、経年劣化のため破片が落ちるなど大変危険な状態にあることから、補修等に対する補助を行った。 ・国指定有形文化財「田平天主堂」 283 千円	283
重要文化的景観保護推進事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 330 頁】	国の重要文化的景観「平戸島の文化的景観」の適切な保存活用を図るため、文化的景観推進委員会を開催し、整備活用計画の策定に向けた検討と、地元まちづくり団体と共催によるイベントを実施した。また、平成 24 年度から選定地区家屋修理修景事業を行った。 ・調査研究、委員会開催 7,193 千円 ・修理修景事業 11,443 千円 志田邸家屋修理修景 4,303 千円 (分担金 1,291 千円) 志田邸倉庫修理修景 882 千円 (分担金 264 千円) 坂本邸家屋修理修景 3,319 千円 (分担金 996 千円) 村田邸家屋修理修景 2,939 千円 (分担金 882 千円) ・事務事業 674 千円	19,310
県指定文化財保存整備事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 330 頁】	県指定史跡「鯨組主益富家居宅跡」の座敷の改修事業、県指定有形文化財「雄香寺開山堂」の消防設備修繕に対する補助を行った。 ・県指定史跡「鯨組主益富家居宅跡」 2,715 千円 ・県指定有形文化財「雄香寺開山堂」 58 千円	2,773
常灯の鼻修復調査事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 332 頁】	「史跡平戸和蘭商館跡」に位置する常灯の鼻は、経年劣化による破損が著しく、危険な状態であり、修復工事を行う必要があることから、整備委員会を県とともに開催した。 ・第 1 回整備委員会 12 月 17 日開催	558
和蘭商館関連施設発掘調査事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 332 頁】	和蘭商館関連施設があったとされる、田平町横島で発掘調査を行い、リンバーンと呼ばれる航海用ロープ製作場のものと関連した排水設備跡や砂岩切石集中区が検出された。 また、建築材と考えられる鉄釘も検出することができた。 ・発掘調査事業 3,496 千円 ・出土遺物保存処理委託事業 201 千円 ・空中写真撮影委託事業 446 千円 ・遺構実測委託事業 591 千円	4,734

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			283	補修補助を行なったことにより、市民・観光客への安全が確保されるとともに、国指定文化財としての構造・美観を保持することができた。
13,517		3,433	2,360	修理修景事業では、選定地区内家屋 4 棟で屋根替えなどの工事を行い、景観の保全・向上を図ることができた。 各種イベントを実施したことで、地域内の意識高揚につなげることができた。
			2,773	県指定文化財としての保存継承が可能となり、火災等への備えを整備することができた。
			558	国指定史跡地内の整備として、文化財的な判断と、今後の方向性を検討することができた。
2,516			2,218	国史跡への追加指定するため、新たな資料を加えることができた。

事業名	事業内容	事業費
和蘭商館復元整備事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 332 頁】	史跡地内公有地について、砂岩貼りや土系舗装による整備を実施した。整備にあたっては、発掘調査によって検出された「商館長居宅跡」と推定される遺構表示を行うなど、復元専門委員会周辺整備部会の指導の下、史跡地に相応しい整備を行った。また、オランダ塀の修復を行うとともに、事業の最終年度にあたる年から復元整備事業報告書を刊行した。 ・ 商館周辺整備工事 12,753 千円 ・ オランダ塀修復工事 1,213 千円 ・ 復元整備事業報告書刊行 4,190 千円	18,156
世界遺産登録推進事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 332 頁】	「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の早期世界遺産登録を目指し、文化庁、県、関係市町等との連絡調整を行うとともに、関係する調査研究を実施した。また、県負担金事業により、広報活動や周知啓発グッズ作成を行った。 ・ 世界遺産登録推進負担金 1,533 千円 ・ 世界遺産登録に係る調査事業 4,137 千円 (賃金含む) ・ 保存管理計画策定に係る委託研究事業 2,999 千円 ・ 事務事業 2,755 千円	11,424
民俗芸能公開事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 336 頁】	国指定重要無形民俗文化財「平戸のジャンガラ」3地区(平戸、宝亀、津吉)のジャンガラ保存会、県指定無形民俗文化財「チャンココ」による、ジャンガラフェスティバルを平戸港交流広場で行った。 また、第6回ひらんどツーデーウォークにあわせて平戸民俗芸能祭を開催し、県指定無形民俗文化財「度島の盆ごうれい」「田助ハイヤ節」、市指定無形民俗文化財「築地町のジャ踊り」「館浦須古踊」の披露に加え、特別ゲストとして長崎新地中華街より「長崎獅子舞」をお招きし、平戸文化センターに特設ステージを設けて行った。 ・ ジャンガラフェスティバル 868 千円 ・ 民俗芸能祭 1,250 千円	2,139
文化公演開催事業 (文化遺産課) 【事項別明細書 336 頁】	ながさき音楽祭 2012 コンサート 5 公演 (神浦伝建交流拠点施設、平戸オランダ商館、宝亀教会、平戸文化センター、熊沢三郎記念館)、ひらんコンサート 2 公演 (山田教会、延命寺)、次代を担う子どもの文化芸術体験事業 (生月小学校)、長崎県美術館名品移動展 (島の館)、県展移動展 (島の館) を開催した。 ・ ながさき音楽祭 2012 コンサート 775 千円 ・ ひらんコンサート (文化協会主催) 0 千円 ・ 文化芸術体験事業 (文化庁委嘱事業) 0 千円 ・ 長崎県美術館名品移動展 125 千円 ・ 県展移動展 71 千円	971

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
8,830	6,500	6	2,820	史跡地内公有地整備、遺構表示、オランダ塀修復を行ったことにより、一般市民や観光客が史跡地全体を散策・回遊することが可能となり、国指定史跡としての景観を整えることができた。 また、復元整備事業報告書を (300 部) 刊行したことにより、事業の経過とその成果を記録保存することができた。
		18	11,406	これまでの調査内容を十分反映した推薦書 (原案) の提出、世界遺産構成資産地区の価値の証明を行うことができた。 また、世界遺産グッズを配布、ポスター・幟を掲示することで、世界遺産早期登録に向けた周知啓発を行うことができた。
			2,139	地域の優れた伝統文化を再認識する機会、各民俗芸能保存会の交流、保存・伝承活動の意見交換の場を設けることができた。 [ジャンガラフェスティバル] 平成 24 年 8 月 4 日実施 ・ 出演団体 4 団体 (市内 3 団体、市外 1 団体) ・ 入場者 400 人 [民俗芸能祭] 平成 24 年 9 月 30 日実施 ・ 出演団体 5 団体 (市内 4 団体、市外 1 団体) ・ 入場者 450 人
			971	各種コンサート、美術展など本物の舞台芸術に触れる機会を提供することができた。 ・ ながさき音楽祭 2012 コンサート 644 人 ・ ひらんコンサート 155 人 ・ 次代を担う子どもの文化芸術体験事業 307 人 ・ 長崎県美術館名品移動展 978 人 ・ 県展移動展 470 人

事業名	事業内容	事業費
市民体育祭開催事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 340 頁】	市民各層のスポーツ振興、普及発展及び競技力の向上を図り、併せて市民の健康と体力の保持増進を目指し市民体育祭を開催した。 競技部大会 (開催日) 9月2日～11月3日 (競技数) 18競技 (参加者) 2,081人 健康まつり (開催日) 10月7日 (開催地区) 3地区(北部、中部、南部) (参加者数) 1,258人 生月町民運動会 (開催日) 6月3日 3,000人 田平町民運動会 (開催日) 10月7日 3,000人 大島村民体育大会 (開催日) 10月7日 650人	1,166
少年自然体験交流事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 340 頁】	半元キャンプ場において、自然観察・シーカヤック・キャンプファイヤーや漁師体験などの野外体験キャンプを行った。 開催日：8月7日(火)～8日(水) 場 所：半元キャンプ場 参加者：34名	99
サバイバル体験交流事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 340 頁】	平戸市野子町高島において、市内小学校4年生～6年生を対象に2泊3日の野外体験学習を行った。 開催日：7月23日(月)～25日(水) 場 所：旧野子小中学校高島分校 参加者：38名	564
ひらどツアー事務員雇用事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 340 頁】	<緊急雇用創出事業臨時特例基金事業> 「第6回ひらどツアーウォーク 2012」の開催にあたり、実行委員会事務局のスタッフを雇用した。	708

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			1,166	体育協会加盟団体による競技部大会は、その競技力向上と県民体育大会出場選手等の選考も兼ねて開催した。 市内6地区で開催した「健康まつり」や「町村民運動会」により、市民の融和と健康増進、生涯スポーツの推進に寄与することができた。
			99	自然の中での生物学習、野外炊飯などのキャンプ活動を体験し、自然と接することやリーダーシップなど団体行動での必要な知識を習得させることができ、シーカヤックやタベのつどいを通して地域間の子どもの交流ができた。2日目の漁師体験では、定置網漁を体験することで、ふるさと平戸の漁業について学ぶことができた。
			564	離島という隔絶した環境の中、市内から集まった子どもたちが共同生活により野外体験学習を行うことで、たくましい身体と精神が育成できた。
708				新たな雇用創出が図られたとともに、大会を開催するための事務局体制が整った。 新規雇用失業者数 1名

事業名	事業内容	事業費
スポーツ推進事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 340 頁】	<p>①平戸ツーデーウォーク大会開催補助金 2,500 千円 開催日：9月29日～30日 開催地区：生月地区（1日目）、平戸・田平地区（2日目） 参加者数：レギュラーコース 延べ1,813人 エコ・トレッキングコース 延べ 126人</p> <p>②社会体育推進事業補助金 4,238 千円 地域スポーツの推進を図るために、生涯スポーツ団体等に補助を行った。 体育振興会 6団体 4,238 千円</p> <p>③スポーツ推進事業補助金 4,577 千円 市民自らが健康で活力ある生活を目指して、スポーツの振興と競技力の向上を図るため、関係団体及び事業に対して補助を行った。 競技大会参加（九州大会等への参加） 24件 2,254 千円 研修会等参加事業 1件 50 千円 市長特認事業 1件 500 千円 県民体育大会参加事業 2件 1,773 千円</p> <p>④スポーツ少年団活動事業補助金 630 千円 少年スポーツの振興を通して、青少年の健全育成に資する活動に補助を行った。 団体育成事業 32件 570 千円 スポーツ交流事業 2件 60 千円</p> <p>⑤体育協会補助金 1,300 千円 本市における社会体育の普及・振興及び競技力向上を図るため、体育協会に対して助成した。 競技部強化費 19 団体</p> <p>⑥平戸縦断駅伝大会開催事業 350 千円 第43回大会を開催するにあたり、体育協会に委託を行った。 開催日：1月20日（日） コース：宮の浦～平戸文化センター 42.1Km 7区間 参加数：一般（フリー）の部 5チーム 一般（市内）の部 7チーム 高校の部 6チーム オープン部の部 1チーム</p> <p>⑦県下一周駅伝大会参加補助金 230 千円 県下42区間を3日間で競う駅伝大会に、市陸上競技協会を中心とした平戸チームに助成を行った。</p>	17,866

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		5,582	12,284	<p>① 市民を中心に誰でも気軽に参加できる歩くイベントを行い、健康増進と交流の場を提供し、地域の活性化を図ることができた。また、このイベントは市外に平戸市の魅力をアピールする絶好の機会であり、更なる地域発展につなげることができた。</p> <p>② 各地区の体育振興会及び団体による社会体育事業を通して、健康で活力ある地域づくりができた。</p> <p>③ 県代表として九州大会以上の大会に参加する競技団体等に対して、補助することにより、その競技力の向上とともに、市民スポーツ普及へつなげることができた。また、韓国少年サッカーチームと交流事業を行い、スポーツの振興につながった。</p> <p>④ 少年スポーツの競技力向上を目的に指導者に対し、正しい知識と技能を修得してもらうための研修会を行い、指導者が研修会に参加した団体に対し活動費を助成し、本市のスポーツの底辺の拡大ができた。</p> <p>⑤ 体育協会に活動補助を行い、各種団体の競技力が向上した。 (県民体育大会成績) 優勝：[団体]相撲（成年男） [個人]相撲（成年）、 [個人]水泳50M平泳ぎ（50歳以上男） 準優勝：[個人]陸上（30-39歳400m） [個人]水泳自由形・バタフライ（50歳以上男） 3位：[団体]サッカー（40歳以上男） [団体]軟式野球（成年男子） [団体]柔道（一般男子） [個人]相撲（成年男子）</p> <p>⑥ 駅伝大会を開催したことにより、駅伝競技の普及と競技力向上、底辺拡大ができた。 優勝：一般（フリー）の部：陸自大村4施大 一般（市内）の部：平戸市消防署A 高校の部：松浦高校A</p> <p>⑦ 助成をしたことにより、平戸チームの経済的負担が軽減されるとともに、レースに専念することができた。 大会結果：総合10位（全11チーム中）</p>

事業名	事業内容	事業費
第69回国民体育大会平戸市実行委員会運営事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 342頁】	<p>実行委員会総会等、各種会議を下記のとおりを開催した。また、先進地視察や啓発活動に努めた。</p> <p>【総会・委員会等】 平成24年5月17日：平戸市実行委員会第2回総会 平成24年4月24日：第2回常任委員会 平成25年2月：4専門委員会</p> <p>【先催地の視察・調査】 平成24年9月1～3日：東京都大島町 第51回全国教職員相撲選手権大会(兼第68回国民体育大会リハ大会) 平成24年9月29～10月4日：岐阜県大垣市ほか 第67回国民体育大会(相撲、軟式野球競技) その他、第67回国民体育大会事後調査説明会、</p> <p>【啓発活動】 懸垂幕、横断幕、看板設置、市内イベントでの着ぐるみPR、昭和44年国体写真展の開催、フェイスブック開設等</p> <p>【連絡調整会議等】 平成25年3月9日：東京都新宿区 第52回全国教職員相撲選手権大会三者連絡調整会議 長崎県相撲連盟との協議、放送委員の実践研修</p>	9,305
全国高等学校総合体育大会平戸市実行委員会運営事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 342頁】	<p>実行委員会総会等、各種会議を下記のとおりを開催した。また、先進地視察や啓発活動に努めた。</p> <p>【総会・委員会等】 平成24年5月17日：平戸市実行委員会第2回総会 平成24年4月24日：第1回常任委員会 平成25年2月：4専門委員会</p> <p>【先催地の視察・調査】 北信越総体相撲競技(抽選会)平成24年7月5日 北信越総体相撲競技 平成24年8月3～5日：長野県長野市 事後調査 平成24年9月20日</p> <p>【啓発活動】 懸垂幕、横断幕、看板設置、PRグッズ配布、フェイスブック開設</p> <p>【連絡調整会議等】 長崎県相撲連盟との協議、高校生放送部の視察実践研修</p>	1,927

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			9,305	<p>関係機関団体等との連絡調整を図り、円滑な大会運営を期すための準備ができた。</p> <p>また、先催地の視察・調査(東京・岐阜)を行うことにより具体的な内容の把握ができ、今後の業務遂行に大いに参考となった。</p>
			1,927	<p>先催地の視察・調査(長野県長野市)を行うことにより具体的な施設面・競技運営面等、今後の業務遂行に参考となった。</p> <p>関係機関団体等との連絡調整及び高校生放送部の県内外での実践研修を行い大会開催へ万全を期すため準備を行った。</p>

事業名	事業内容	事業費
全国高等学校総合体育大会相撲競技選手強化育成事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 342 頁】	本市高校相撲部の選手強化のため、遠征合宿・交流合宿等に係る費用の補助を行った。	500
生月町B&G海洋センター施設改修事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 344 頁】	生月町B&G海洋センター（プール）の改修を行った。 プール改修工事 プール鉄骨塗装改修 女子更衣室床改修 給湯ボイラー取替工事	22,852
生月町勤労者体育センター整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 344 頁】	生月町勤労者体育センター（野球場）の改修を行った。 【工事内容】野球場外壁クッションウォール改修、ダックアウト改修、ファールポール改修、バックネット改修、外周フェンス改修、空調機設置、放送システム改修えなど	34,713
赤坂野球場整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 344 頁】	赤坂野球場の改修を行った。 【工事内容】スコアボード改修、ダックアウト改修、外野壁面補修、ゴムマット改修、外周舗装改修など	22,722
生月町国民体育館耐震診断事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 344 頁】	地震発生時における施設の安全性確保のため、耐震診断を行った。 耐震診断委託料 903 千円	903
給食共同調理場設備整備事業 (教育総務課) 【事項別明細書 346 頁】	安全安心な給食を提供するため、老朽化した設備機器及び調理用機械器具の更新を行った。	19,959

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		500		遠征合宿及び合同練習を行うことにより選手の技術力が向上した。
		12,100	10,752	老朽化した施設を改修することで、安全性が向上し、市民が安心して利用できるようになった。
603	14,600	19,301	209	平成 26 年度開催の第 69 回国民体育大会軟式野球競技を実施するための環境が整った。
		6,679	16,043	
301			602	耐震基準を満たした施設であることが判明し、安全性が確認できた。
			19,959	各調理場において、作業の効率化と衛生面が大幅に改善し、児童生徒等に安全安心でおいしい給食を提供できるようになった。